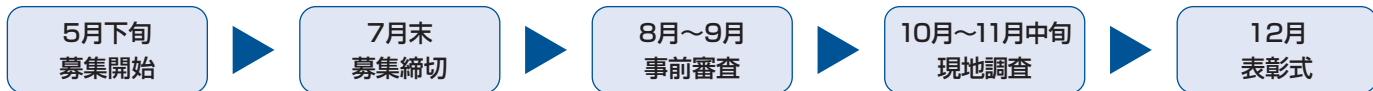


中部の未来創造大賞では次のような活動を表彰しています。

1. 住民、企業・学校、行政等が工夫して取り組んでいる地域づくりの活動で、以下に該当するもの
 - 生活・自然環境の保全を行っているもの
 - 景観の向上を行っているもの
 - 観光資源として活用しているもの
 - 地域づくりに関連した情報発信を行っているもの
 - 資源の再利用を行っているもの
 - 公共施設の整備にあたって、コスト削減等に有効な新技術、新工法の研究開発を行っているもの
2. 災害時の人命救助、復旧活動や防災に関する活動
3. 伝統的な建造物の保存、復興等を行っている活動

第19回「中部の未来創造大賞」の募集予定

- 募集期間(予定)
平成30年5月下旬～7月末 (詳細は、募集開始時にホームページに掲載します。)
- 応募条件
 - 長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5県内における活動を対象とします。
 - 自らが参加している活動であり、特許・著作権またはプライバシー等の権利を侵害しないものに限り、
 - 資格、年齢等は問いません。
 - 再応募ができます。(但し、これまでの「中部の未来創造大賞」にて大賞を受賞された活動は除きます)
- 選考について(予定)
学識経験者等からなる表彰委員会により選考します。必要に応じて現地調査、面談等を行います。
- 賞(予定)
 - 大賞…1件[賞状、盾、賞金10万円]
 - 優秀賞…3件程度[賞状、賞金5万円]
 - 特別賞…中部経済連合会賞、中日新聞社賞



※受賞後3年間は受賞活動の後援、推薦(他機関が募集する賞や助成への推薦)を行います。(協議会への申請と確認が必要です。)
※個人情報等については、当協議会が行う中部の未来創造大賞以外には使用いたしません。受賞された応募案件につきましてはホームページ・パンフレット等で、団体名、住所、電話番号、FAX、URLを公開いたします。前述をご了承の上、ご応募下さい。

●これまでの主な受賞活動

大賞	中部経済連合会賞	中日新聞社賞
「地域のデザイン」を、住民自治で!	世界農業遺産「清流長良川の鮎」として認定されるまでの川づくりから遺産保護と清流長良川を後世に引き継ぐ「川づくり」を目指す。	官民協働で作って行くフラワーパーク江南
美麻地域づくり会議	NPO法人 長良川環境レンジャー協会	フラワーパーク江南友の会

第18回 中部の未来創造大賞

FUTURE CREATION 2017



FUTURE CREATION 2016

中部の未来創造大賞

主催/中部の未来創造大賞推進協議会

中部の未来創造大賞 で 検索

中部の未来創造大賞推進協議会事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画課 — TEL(052)953-8127

一般社団法人 中部地域づくり協会 業務管理部 — TEL(052)962-9455

URL <http://www.cbr.mlit.go.jp/kikaku/mirai/index.htm>



第18回「中部の未来創造大賞」について

「中部の未来創造大賞」は、地域づくりのための活動を表彰し、新しい時代にふさわしい中部の発展と啓発を促進しようとするものです。第18回目にあたる今回は21件の応募をいただきました。表彰委員会による審査の結果、大賞1件、優秀賞3件、特別賞2件が選考されました。本冊子は、これらの選考された活動の概要を紹介するものです。今後の地域づくりに広く役立てていただければ幸いです。

■受賞の対象

- ・受賞の対象は、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県における社会資本整備及びその利用・保全に関する活動に顕著な貢献が認められるもの
- ・個人又は、団体(自治体、企業、NPO等)を対象



絆をつくるまちづくり



地域を守るのは ぼくらだ!
～学校・地域・関係機関が連携した防災活動～



子どもたちが未来を地域を創る主役!
環境教育を楽しむ「保育園のいいむす21」



地域に子どもや学生を呼びこむ
古民家再生・黒谷プロジェクト

C O N T E N T S

第18回「中部の未来創造大賞」について……………	1
大賞	
地域を守るのは ぼくらだ! ～学校・地域・関係機関が連携した防災活動～ ……………	3
優秀賞・中部経済連合会賞 ※同時受賞	
子どもたちが未来を地域を創る主役! 環境教育を楽しむ「保育園のいいむす21」 ……………	5
優秀賞・中日新聞社賞 ※同時受賞	
地域に子どもや学生を呼びこむ 古民家再生・黒谷プロジェクト ……………	7
優秀賞	
絆をつくるまちづくり ……………	9
選考を終えて(表彰委員より)……………	10
これまでの主な受賞活動……………	11

地域を守るのは ぼくらだ!

～学校・地域・関係機関が連携した防災活動～



岡崎市立常磐東小学校

〒444-3167 愛知県岡崎市米河内町字惣作32
TEL 0564-46-2108
URL <http://www.oklab.ed.jp/weblog/tokihiga/>



岡崎市は、愛知県より、658か所が「土砂災害特別警戒区域」に指定されています(平成29年10月27日現在)。本校学区は、その内85か所あり、土砂災害の危険が高くなっています。その中、「岡崎市立常磐東小学校」では平成25年度から、小学校5年または6年生が中心となって総合的な学習の時間に、学校・地域・関係諸機関との連携をした防災学習を実施しています。

活動の目的や方針、主旨は次とおりです。

- ①防災教育によって、子供自身で、自らの身の安全を確保できるように対応できるようにする。
- ②地域の方に協力いただいて防災意識アンケートを実施したり防災マップを作成したり、防災意識の高揚を図ったりする。
- ③大学・NPO法人・市の防災課などの関係諸機関等と連携して、より充実した防災活動を展開して、地域の防災活動にも協力する。
- ④地域の方々と一緒に、地域のための防災活動を推進することを通して、子供自身が地域の一員としての自覚や地域になくてはならない存在であるという意識を育てたい。
- ⑤防災教育を通して、子供たちの思考力・判断力・表現力を培うとともに、活動を通しての達成感を体得し、自尊感情や自己存在感を培いたい。

【具体的な活動内容】

- ・地域や大学、行政と協力して、土砂災害の危険場所を調査し、「防災マップ」の作成と更新(H25～H29)
- ・学区全世帯の約350世帯を対象に「防災意識に関するアンケート調査」を実施して研究を推進(H26～H29)
- ・地域の危険な場所に、子供たちの手作りの木製の防災看板設置(H25)、改良された金属製の防災看板設置(H27)
- ・児童が企画した「通学時避難訓練」、「放課の子供避難訓練」「子供主体の避難訓練」等の実施(H27～H29)
- ・児童が企画した体育館での「1泊2日の避難所宿泊体験学習」の実施(H29)
- ・児童による「防災学習」の研究発表(校内発表または「学区防災訓練」での発表H25～H29)



心肺蘇生法訓練



自主防災看板の設置



防災研究発表

子どもたちが未来を地域を創る主役! 環境教育を楽しむ「保育園のいいむす21」



飯田市公立保育園 園長会

〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534
TEL 0265-22-4511
URL [http:// www.city.iida.lg.jp/soshiki/21.html](http://www.city.iida.lg.jp/soshiki/21.html)



飯田市役所本庁舎は、平成12年1月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO 14001を認証取得しましたが、出先機関を含め市役所全体で環境改善活動を行うため、本庁舎以外での簡易なシステムとして、「いいむす21」が構築され展開されてきました。平成12年度から取り組みが始まった「いいむす21」ですが、平成14年度までに全ての保育園が市長認定を受けて、電気・水道・ガス・灯油・ごみといった省エネ・省資源だけでなく、環境教育等保育園らしい有益な各園独自の環境活動が展開されてきました。

「保育園のいいむす21」の目的は、次の3つです。

- ①飯田市役所の環境方針を達成するため、ISO 14001の仕組みを利用して、保育士・調理員、園児、さらには保護者を巻き込んで、園全体で環境改善活動に取り組むためのものです。
- ②環境学習や環境活動等を通じて、園児の環境に対する意識の向上を図り家庭や地域への展開を図ることを目的とします。
- ③地球温暖化対策の取り組み、温室効果ガスの総排出量の削減を効果的に実施するに当たり、その具体的方法・手段として利用するためのものです。

【具体的な活動内容】

- ・子どもたちへの環境教育（それぞれの園での体験を通しての独自の環境育）
- ・保護者への環境情報の発信・啓発（保育園だけでなく家庭や地域を巻き込んだ取り組みへの発展）
- ・「保育園のいいむす21」のシステム運用による全体のレベルアップ



アルミ缶回収



ごみ拾い



ごみ分別学習会

地域に子どもや学生を呼びこむ 古民家再生・黒谷プロジェクト



豊橋技術科学大学 建築サークル

〒441-1944 愛知県新城市門谷下浦
TEL 052-935-7625
URL <http://kuroya.jp/index.html>



愛知県新城市門谷の鳳来寺表参道沿いに建つ古民家を拠点として、こども塾を開催し、学生主体のボランティアで街並みを保全する改修活動を行っています。旧黒谷家住宅は江戸時代に建てられ築200年の歴史を持つ古民家であり、門谷地区の街並みを形成する重要な建物です。本活動は、地域資源としての古民家を発展的に改修維持し、同時にそこを拠点として開放し、多くの子どもや学生の地域への関わりを生むことを目的とします。

【具体的な活動内容】

- ・こども塾では、各地から子どもが集まり、自然や古民家の中で遊び学びます。山の環境や文化を楽しく理解します。
- ・子どもが、大人や大学生とも交流し、創る体験を楽しんでいます。
- ・多大学が協働し、活動を行うことで大学間を超えた交流を行うことができます。
- ・地元の企業や地域住民の方により、使用材料を地産地消でまかなうことができます。
- ・1年間を通して改修を行い続け、夏には郊外住民を巻き込むワークショップを行っています。
- ・11月の地域行事「もみじ祭り」に合わせて改修・成果物に対し、お披露目会を通じ地域への発信を行っています。



子供との交流



竹柵造り



庭づくり



芥見東まちづくり協議会

〒501-3127 岐阜県岐阜市大洞桜台1-26-2
TEL 058-241-1062
URL <http://akutamidorittko.web.fc2.com>



芥見東地区は、昭和40年代に岐阜市の一番東の関市に隣接する小高い山と田んぼが広がるのどかな大洞地区に、岐阜市が造成した県下最大の住宅団地です。団塊世代が多く住み約40年たった現在子供も成長し、この地を離れて所帯を持つ人が多く、この地に残っているのは当時 夢を持っているような地域から移り住んで来た親たちになりました。岐阜市50地区で3番目に高齢化率の高い地区になりました。そんな高齢者が元気で暮らせる町、若いも若きも町に出て活躍あるいは余暇をエンジョイできるような活気ある町にしようと「絆をつくるまちづくり」を進めています。

【具体的な活動内容】

・みどりっこバスヘルパー

芥見東地区、芥見南地区、ふたつの連合会が一緒になって始めたバス事業で、乗客のお世話をしようと集ったボランティアの人たちがヘルパーとして活躍しています。平成22年度からは藍川東中学校の生徒もボランティアで夏休みに一般のヘルパーと一緒に中学生ヘルパーとして活躍してくれています。

・ワンコインコンサート

平成25年8月から文化施設の無いこの地でもみんなに生音を聞いてもらい絆を深めてもらおうと始めました。

・みどりっこマーケット

趣味の手作りの品を2ヵ月に1回対面販売しています。岐阜市のメディアコスモスでも販売を行いました。



みどりっこバス中学生ヘルパー



ワンコインコンサート



みどりっこマーケット

委員長

名古屋工業大学名誉教授

山本 幸司 やまもと こうし

今回も中部地域の自然環境保全、防災、まちづくり等に関するさまざまな活動について応募頂きました。それらの活動への参加者が保育園児からシニア層まで幅広い年齢層に広がっていることに感謝し、またリーダーとして活動を支えて下さっている方々に敬意を表させていただきます。

副委員長

三重大学名誉教授

渡邊 悌爾 わたなべ ていじ

応募数がやや少なくなっていることは残念だが、応募された団体は、それぞれの地域の課題に対して多様なアプローチで目的意識を共有しつつ連携して活動を続けておられることに敬意を表したい。現場発の豊かな発想で地域づくり活動が一層活発になり、未来を拓く契機となることを期待する次第です。

委員

駿府静岡歴史楽会事務局代表

竹内 礼子 たけうち れいこ

現地で活動内容を直接に聞かせて見せていただき、アイデアと熱意に感動しました。

小学校や保育園の環境学習では子どもたちの興味が次々と広がっていく様子が伝わりました。また若い世代を育てていく活動にも応援したい気持ちでいっぱいです。

選考を終えて (表彰委員より)



委員

名古屋大学大学院環境学研究科助教

高取 千佳 たかとり ちか

いずれの団体も地域の課題対策や魅力づくりに真摯に取り組み、着実に成果を出しておられることに感銘を受けました。これからも地域の中心として、更なる活動を展開されることを祈念しております。

委員

中日新聞社事業局長

澤田 敬介 さわだ けいすけ

日本にも「バブリック」の意識が根付けば、もっと住みよい社会になると、日ごろ感じています。今回応募された各団体は活動主体の年齢層、発想、内容が多彩なうえ、地域社会や次世代への思いがあふれていました。こうした輪が中部圏全体に広がることを期待します。

委員

(一社)中部経済連合会常務理事

栗原 大介 くりはら だいすけ

各種団体が連携した地域活性化の取組みをはじめ、子どもたちへの環境・防災意識向上、高齢化に対する地域対応など、各団体が時宜を得たテーマに取組まれており、将来への可能性を大いに感じました。

今後、継続的な活動により、地域に一層貢献されるとともに、他地域や他団体にも水平展開されることを期待しています。

委員

中部地方整備局企画部長

岩田 美幸 いわた よしゆき

今回応募して頂いた活動内容は、地域の課題に対応して、地域づくりを住民・学校・企業等が行政と協働している多様な取組が多く見られました。将来の地域の担い手の育成と地域活性化に取り組む姿を拝見し、中部の未来を担う力が創造されていると感じました。各団体の益々のご発展と、ご活躍を期待しております。

中部の未来創造大賞推進協議会

国土交通省中部地方整備局

長野県

岐阜県

静岡県

愛知県

三重県

静岡市

浜松市

名古屋市

中日本高速道路株式会社 名古屋支社

名古屋高速道路公社

独立行政法人
水資源機構 中部支社

地方共同法人
日本下水道事業団 東海総合事務所

独立行政法人
都市再生機構 中部支社

公益社団法人
土木学会 中部支部

一般社団法人
中部地域づくり協会

一般社団法人
日本建設業連合会 中部支部

一般社団法人
建設コンサルタンツ協会 中部支部

一般社団法人
長野県建設業協会

一般社団法人
岐阜県建設業協会

一般社団法人
静岡県建設業協会

一般社団法人
愛知県建設業協会

一般社団法人
三重県建設業協会

株式会社中日新聞社

後援／一般社団法人
中部経済連合会